第10回

高校第10回卒業　県陵三三会

■昭和63年４月16日　　記念式典：松本県ヶ丘高等学校体育館　祝賀会：マウントホテル

■記念講演

演題：高校野球にかける情熱の監督達

講師：那須重信

SBC信越放送アナウンス部長・エグゼクティブアナウンサー。

現在はNHK文化センター松本・長野県カルチャーセンター講師として活躍中。

要旨：高校野球の取材を通して、監督達の熱い思いを肌で感じ、白球にうちこむ生徒との交流を紹介した。

■寄贈　図書費　30万円

図書券を贈る岡野会長（右）

63. 4. 17
市民タイムス

今年も愛のリレー

県ケ丘高校卒業生　図書券30万円贈る

ことしも届いた先輩愛！。松本県ケ丘高校（小林栄一校長）の卒業生が毎年実施している「母校愛リレー」がことしも行われ、十六日、同校体育館で開いた創立記念日式典の席上、昭和三十三年卒業の「県陵三三会」（岡野元彦会長、三百四十二人）から、図書券三十万円分が同校に贈られた。先輩たちの後輩を思う心の表れで、温かい思いやりに全校生徒は大きな拍手で感謝していた。

母校愛リレーは、卒業三十年を迎えた卒業生が「一つの折目として母校の役に立ちたい」と十年前から実施している。新制高校の第一回生が昭和五十四年から始め、以来、毎年卒業三十年を迎えた同窓生が受け継ぎ、愛の図書を増やし続けてきた。

同校は、この図書券で年間予算の図書費では賄えない本を購入。図書室の中に「母校愛リレー卒業三十周年記念図書コーナー」を設け、生徒たちの勉強などに役立てている。

過去九年間で購入した図書は、文学全集や辞典類を中心に八百九十二冊。『日本古典文学辞典』や『世界の名画』『私家集大成』などの高価な本が多く、美術全集や写真集などもそろえつつある。

第六十六回県陵創立記念式のこの日は、岡野会長をはじめとする新制高第十回生の「県陵三三会」の会員十七人が母校を訪問。在校生が見守る中、同会長が「卒業後三十年を経て、私たちも各業界で活躍する年になった。一つの節の贈り物として有効に活用してもらいたい」とあいさつ。会員から[illegible]た善意で買った図書券を小林校長へ贈った。同校長は生徒に代わり、「こんな素晴らしいものをいただき、感謝に堪えない」と礼を述べていた。

また、この日は、会員の信越放送アナウンス部次長・那須重信さんが記念講演。「高校野球に賭ける情熱の監督たち」と題し、高校野球中継で知り合った各校の監督たちの野球への思い、仕事を通してのエピソードなどを語り、人生の道標を示した。

■記念祝賀会

卒業時担任の恩師を招き、盛大に行われた。

恩師にお礼の記念品を贈る

県陵にバンザイ・三三会にバンザイ

A組（松井先生）

B組（長崎先生）

C組（松沢先生）

D組（松本先生）

E組（望月先生）

F組（小林先生）

G組（竹内先生）